



熊本県立高等技術専門校 新築工事中 幸田1丁目

幸田1丁目にある熊本県立高等技術専門校は職業能力開発促進法の趣旨に則り、自動車車体整備科、電気配管システム科、総合建築科、総合実務科があり、それぞれ科に応じた職業訓練を行い、職業人としての人間形成に努め、高度な知識と即戦力となる技術、技能を習得した有能な中堅技術者を養成し、職業の安定と働く人の地位の向上を図ることを目的として昭和21年宮内町で設立されました。その後、昭和38年4月現在の幸田に移転して今日に至っています。

60年以上身近にありながら私自身、学校の実体をとんとんど知りませんでした。そこで新築工事中の学校の一部を紹介します。



イメージ図



ご覧いただくとお分かりのように、今回北側部分にも出入口が設置され、従来以上に地域に解放される感があります。熊本の技能を磨く拠点として大いに飛躍することでしょう。

専門校の魅力

① 13年連続100%の就職率！

県内求人52社、県外求人44社（令和4年度）
修了生は、主に県内企業へ就職が決まっています。

② 即戦力の資格取得！

国指定の養成施設となっていますので、自動車車体整備科では2級自動車整備士や車体整備士受験で実技試験が免除されます。電気配管システム科では1年課程終了後に第二種電気工事士を取得できます。

③ 安価な学費！

- 受験料は2,200円、入校料は5,650円です。
 - 授業料は年間118,800円（4月と10月に分納）です。
 - 世帯の所得状況により授業料の減免制度があります。
 - 総合実務科は受験料・入校料・授業料は無料です。
- ※各科に応じて入校時及び進級時に教科書代等の経費が必要となります。

④ 学生寮を完備！

敷地内に学生寮を完備しています。
寮費は3食付きで月額31,000円（予定）程度（R5年度）となります。（毎年度4月に決定します）

事業の目的

- ・ 老朽化している建物を再整備すること
- ・ 技能検定試験会場として「技能振興センター」を敷地内に設置すること
- ・ 県職業能力開発協会を招致し、産業人材育成に取り組むこと

今後のスケジュール

現在総合建築科と技能振興センター、学生寮が建築中で、R6～7年度に管理教室棟と自動車車体整備科、R8年度に電気配管システム科が随時工事にかかります。

途中経過の報告



早速関係機関に事情を説明し、複数の部署で打ち合わせをした末、ようやく方向性を見出して来年度、フタをかけて歩道が新設されることになりました。

田井島地区は近年大規模な宅地開発が行われ世帯数が激増しました。合わせて自転車、バイク、車輛の通行量も増加し、たちばな酒店西側の道路は小中学生の登下校の際の危険な箇所になっていました。そこで昨年9月、地域の皆さんから道路の脇を流れる水路にフタをかけて歩道を新設してもらいたいとの要請をいただきました。

① 田井島3丁目 (たちばな酒店西側) 歩道新設工事について

昨年、平成けやき通りを頻繁に利用される方からメールをいただきました。「セブンイレブンの流通団地店の交差点で右折しようとする、対向車線も右折車両が並んでいて曲がろうとするたびにヒヤリ、ハツとするので改良できないものか」との内容でした。

交差点は小中学生の通学路でもあることから関係機関に実態を説明し、現時点で視界を拡げるために低木を撤去しコンクリート措置をしました。今後、右折専用のレーンと信号機の設置を予定しています。



② 平成けやき通り 交差点について



関係機関に調査してもらいましたが、田迎木原線の幹線道路としての位置付けや現在の信号機の間隔等から新たな信号機の設置は困難。ただし、住民の不安に少しでも応えるために『ドットライン』（車線の内側に白の破線を引くことで車線を狭く見せることでスピードを抑えることを促すものです）を今年度中に標示することになりました。

4月の選挙戦の最中、木部町のバス停で街頭演説を行いました。終了後、住民の方から「木部町から田迎木原線に出ようとする、通行する車輛のスピードが早くて進入できない。スピードを落とすために何かしら改善できないか」とのことでした。

③ 木部町から田迎木原線へ

